

～下田のデキゴト～



11/25 高校生と社会人のトークフォークダンス

生徒2名と社会人1名がペアを順繰りにテーマに沿ったトークを交互に行うこの企画には、下田高校1年生130名、社会人66名が参加し、夢や後悔、武勇伝などを語り、様々な考え方の意見交換の場となりました。



11/28 第1回観光まちづくりワークショップ

約50名の参加者が時間ごとにグループを移動しながら多くの意見を出し合いました。これからの下田市の観光について、共に考え、共に実行する、市全体が一体となった新しい観光を目指します。



12/16 歴史から防災を学ぶ

地震学者である、都司嘉宣氏をお招きし、50名の方々が歴史的な地震が起きた時の下田の状況や、他地域の状況、そういった経緯からどのような対策をすることが望ましいかなど、歴史から防災を学びました。



11/28 静岡県統計功労者表彰式

統計事務に顕著な功績を残された方を表彰する、静岡県統計功労者表彰式が開催され、令和5年住宅・土地統計調査の統計調査員として尽力いただいた、蓮台寺在住の倉富博氏が総務大臣表彰を受賞されました。



12/1 4,477人が地域防災訓練に参加

自主防災会を中心に、市内各地で防災訓練を実施しました。担架による搬送訓練、普段とは違う場所からの避難訓練などを通じて、自助・共助の重要性を確認するとともに、地域の方同士の交流の場となりました。



12/20～1/31 水仙の薫りあふれる爪木崎

12月20日に第59回下田温泉水仙まつりが爪木崎で開催されました。可憐な水仙が少しずつ咲きはじめ、水仙の甘い薫りで包まれています。見頃は1月中旬、皆さまも一足早い春を満喫してはいかがでしょうか。

- 12月のできごと
- 1日 地域防災訓練
  - 7日 下田をきれいにする日
  - 15日 福祉講演会

- 16日 年末の交通安全県民運動 早朝一斉街頭指導
- 18日 寿大学
- 21日 防災講演会「軍師に学ぶ防災の心得」

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



2月の予定

- 1日(土) 開館日
- 3日(月) 鬼さんと遊ぼう
- 5日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 6日(木) わくわくタイム
- 10日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時  
場所：市民スポーツセンター
- 12日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 13日(木) 誕生会 10時30分～
- 15日(土) 開館日
- 17日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時  
保健師・栄養士来所
- 19日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 27日(木) おひなさま製作
- 28日(金) おひなさま製作

※予定は変更になる場合があります。

詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



こども園給食体験



クリスマス会

新年あけましておめでとうございます。ご家族で穏やかなお正月をお過ごしのことと思います。今年もお子様の健やかな成長を保護者の皆様と一緒に温かく見守り支援していきたいと思ひます。また、育児相談も随時行っております。利用者の皆様に安心して来ていただき、楽しい時間を過ごしていただけるよう、スタッフ一同お待ちしております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



ミニミニ運動会



誕生会

こんにちは、市長です

皆さんはどんな初夢を見ましたか？

今回はお正月にふさわしいおめでたい夢にまつわる落語「芝浜」から。  
貧乏な魚屋の勝五郎が早起きして芝の浜に行くとき波打ち際で古い財布が入っている。びっくりして家に帰り、おかみさんに見せ、二人で数えると82両もある。おったまげる夫婦。勝は、これでもう働かなくていい、遊んで暮らせると大喜び、朝から酒(昨夜の残り)を呑んで寝てしまう。  
翌日、いつものようにおかみさんに叩き起こされ、早く商いに行つて来いと言われる。82両もあるんだから働かなくていいじゃないかと勝。するとおかみさんは、何を寝ぼけているんだ、夢でも見たのか、と言って取り合わない。ああ、そうかあ、夢だったのかあ。とがっかりする勝。  
しかし、ここで勝は、金を拾う夢などあてにせず、真面目に働かなくてはいけないのだと思ひ直す。そして酒を断つて人が変わったようにせっせと働く。月日が流れ、とうとう表通りに店を構えるまでになる。3年目の大晦日の晩、夕飯を食べようという段に、おかみさんから言われる。この財布を見てください、覚えていませんか。あっこれは夢で見たやつだと勝。夢じゃなかった、私が隠しました、と謝るおかみさん。どうか怒らないでくれ、これがあると真面目に働かないと思つて騙した、すまない。  
勝は、怒るところか礼を言う。ありがとう。おかみさんは喜びながら3年間よく頑張つた勝に、好物の肴を出してお酌する。お爛された旨そうな酒を三年ぶりに飲もうとする利那、「よそう。また夢になるといけねえ」でおしまい。  
勝五郎夫婦にとつての夢は、大金を拾つて贅沢に暮らすことではなく、真面目にしっかり働いてその結果として幸せな暮らしを手に入れることでした。  
私たちのまち下田も、善良な幸せを目指していきたいと思ひます。市民の皆さんと力を合わせて。

